

田中町のお祭りを 10 倍楽しむ法

いわれ

いわれは諸説ありますが、徳川光圀公が仏教色を取り払い、湊の豪商にお金を使わせるため屋台に芸者衆を乗せ、優雅で豪華なお祭りにしたという説もあります。

囃子

主に使われているお囃子は、「四町目」「鎌倉」「おっしやい」「とっぴき」「本町二町目」です。聞き分けられると楽しいでしょう。 [※お囃子の種類](#)

宮参り 8月6日

年番釈迦町様お宮参りが田中町祭典事務所を 11 時頃通過します。
かわいいお稚児さんが見られます。

例祭 8月7日

供奉の順番は氏子会会長が、風流物（屋台）の順番は若連会長がくじを引き決まります。

神幸祭 8月8日

出発式では「雛振り三番叟」をお祝いのために舞い、
若頭筆頭がお清めの塩を蹴る出発のところは見逃せません。
明神町を午後 6 時に町印の行列が出発しますが、
天満宮で神幸行列と合流するところも見ていただきたいところです。

町渡し 8月8日、9日

風流物（屋台）町渡しの挨拶に白扇を使うところも粋なところで、
門付けでは素敵な舞なども見られます。

風流物（屋台）

[お囃子さん](#)とのかけあいも楽しく、梶棒でのみみ合いもあり、田中町は腕を上げる方法を取っていますが、他町との違いを見つけるのも楽しいかも知れません。

お神輿 8月9日

朝 5 時にお綱掛けの儀が始まります。お神輿の見どころはお浜入りとよく言われますが、お腰掛けへ入るところも素晴らしい絵になると思います。

還幸祭 8月9日

午後 6 時に稚児、供奉、風流物が続く七町目付近は良いポイントかと思ひます。
また、本町通りで屋台が勢ぞろいするのも素晴らしいでしょう。

千秋楽 8月9日

町内へ入り哀愁を帯びた「本町二町目」を全員で唄いながら田中町祭典事務所へ戻り、千秋楽を迎えます。